

ウキウキやわくわくのある組織に

8月1日の定期総会で、東日本支部東北ブロックから初めて会長に就任した三上さん。2年前「会務は役員皆ですもの。今までと異なったやり方で良い」と背中を押されて



東日本支部長に。今回「伝統を重んじながらも運営の仕方は変わらなければならぬ。地方にいる会員がトップになるのも変わり目の良いのでは」との思いから女税連会長を引き受けた。

「最大の会員増強策は、組織の目的である親睦と研鑽に沿って活動し、その価値を未加

全国女性税理士連盟会長

みかみ ひろみ

三上 広美 さん



入の女性税理士にわかっていたこと」と

強調し「ウキウキ、わくわく、何かある、参加してよかった。そんな組織にしたい」と意気込む。

また、女税連は税制や民法などの諸制度の調査研究を行い、必要に応じて関連機関に法改正の要望活動をしてきたがこの活

動を更に推し進める。税理士になったきっかけは、女性は補助的仕事だと決めつけられることに納得がいかず、働きながら税理士試験に挑戦したのが始まり。「おかげで一般社員、管理職を経験して企業実務の経験を積み、経営者の悩みも分かるようになり良かった」と話してくれた。趣味はゴルフ。座右の銘は「不易流行」。茨城県出身。(中)